

QUARTERLY
MAGAZINE

HAKONE

HOSPITAL

2016
APRIL

Summer

Vol.

02



独立行政法人国立病院機構

箱根病院

〒250-0032 小田原市風祭 412
TEL:0465-22-3196 FAX:0465-23-1167

いのち輝く、癒しの病院

そこにいと、ほっと心が安らぐ

嬉しい時はともに喜び

辛い時にはともに立ち向かう

真剣に取り組んでいる時には影でサポートし

悩んでいる時にはそっと手を差し伸べる...

患者さんも職員も箱根病院で過ごす全ての人が
そんなあたたかい思いやりでつながる家族のような病院

箱根病院で過ごすことで自然と心がやすらぎ

その人の良い面が引き出され

ひとりひとりが輝く場でありたい

箱根病院にはそんな理想があります

「いのち輝く、癒しの病院」

理想の病院を目指す箱根病院の旅を

みなさまと共有しながら

その一步一步を楽しみながら

歩みを進めていきたい



QUARTERLY
MAGAZINE
HAKONE
HOSPITAL

2016
APRIL
Summer

Vol.
02

Contents

-
- 1, THE SCENE 02
 - 2, PEOPLE 箱根病院を支える人々 08
 - 3, & HOSPITALITY..... 10
 - 4, 箱根病院 NEWS..... 11
 - 5, 院長からの言葉 12
-

The Scene

日々の生活は一つひとつのシーンの積み重ねです。
 人のやさしさを感じたり、植物に癒されたり、
 何かに挑戦してみたり
 素敵なシーンに溢れている日常こそ、
 理想の病院の姿だと思っています。
 箱根病院で日々生まれる
 「いのち輝く、癒しの病院」らしい
 シーンを覗いてみました。

The Scene — N°01 N°02 N°03 N°04

The Scene N°01 ぽかぽか陽気、さくら道を散歩



春の温かい日に照らされて、お花見を楽しむ

花は人の心を穏やかにし、癒しを与えてくれます。気分が塞がっている時や少しイライラしてしまっている時に、花を眺めていたら自然と心が落ち着いた、なんていう経験をされている人も少なくないのではないでしょうか。そんな人の心を癒やしてくれる花の中でも、日本人にとって、特別な存在となっている桜。日本の春を象徴する美しい花です。

毎年春になると桜が箱根病院の周りを彩ります。赤い屋根が目印の旧本部棟の脇を抜けると、そこには桜のアーチが。いつもの散歩道でも、桜が咲くと、そこまるで別世界。患者さんや職場の仲間たちと一緒に、桜に囲まれて歩く散歩の時間はとても贅沢なひとときです。

プランターを通じて、花を育てる楽しみだけでなく、たくさんの人とのつながりやコミュニケーションが生まれています！



The Scene
N°02

草花を楽しむ

草花を楽しむことから、つながりが生まれる

あなたにとって花や観葉植物はどんな存在ですか。「見ていると心が癒やされる」「育つ過程を見るのが楽しい」...

花や観葉植物は、そんな癒しや生きる楽しみを与えてくれます。

難病と共生する箱根病院の患者さんにとって病院とは生活の場でもあります。

生活の中に変化や癒しをもたらしてくれる花や観葉植物はとても貴重な存在。ですが、そういった癒しや変化だけではなく、花や観葉植物は別の効果も箱根病院にもたらしています。箱根病院のプランター設置プロジェクトを推進した担当者にお話を伺いました。

「箱根病院では患者さん自らプランターの花を育てています。プランターを設置した当初はボランティアの人にきちんと依頼しないと管理できないと思っていました。しかし、誰に言われるわけでもなく、箱根病院の職員が水をあげたり、患者さんのご家族やボランティアの方がお手伝いしたり...

自然とコミュニケーションが生まれ、たくさんの人たちが関わってくれるようになりました。患者さんやそのご家族、職員が日にあたりながら一緒に花に癒やされている姿を見ると、とてもうれしい気持ちになります。また、育てたお花を患者さんが病室に飾ったり、他の患者さんにあげたりするなどして、お花を中心としてたくさんつながりが生まれている気がします。」

お花を中心として生まれる、たくさんつながり。箱根病院にとってお花や観葉植物は、多くのコミュニケーション、つながりをつくってくれるかけがえのない存在なのです。



The Scene

N°03

夏祭りを楽しむ

箱根病院の夏祭り(縁日)

日本の夏!といえお祭り。箱根病院は3年前から8月のホームカミングディに、縁日と称して夏祭りを開催しています。患者さんやそのご家族に夏を感じてもらいたい、楽しい時間を過ごしていただきたい、そんな想いを胸に箱根病院の職員自らが立ち上げた縁日です。

一人の職員の想いからはじまった縁日

箱根病院の恒例イベントとして定着してきた縁日は、発起人、看護師の田辺さんの想いから始まりました。

「毎年花火大会の日は、職員みんなが出勤します。こういう状況はなかなかありません。病院として普段よりも余力があるこの日に、患者さんにもっと楽しんでいただくことができるのではないかと考えました。そこで考えたのが、縁日のような夏祭り。患者さんは縁日気分を感じる機会は少ないので、そういう場をつくれたらと考えました。」

企画実施にあたり苦労したことは?

「お店の中身の検討から、テントの設営、品物の発注、ポスターづくりまで最初は一人だったのでとても苦労しました。人手も少なく、やれることはちょっとしたこと。2、3店舗のお店をなんとか作って運営する、というような感じでした。」



反響はどうでしたか?

「とても好評で、患者さんからも「楽しみにしてる」なんて声をかけてもらえたり、とても嬉しかったですね。企画スタート当初は2、3店舗が限界でしたが、次第に手伝ってくれる人も増えて、今ではスピードくじや、釣り大会、わなげなど6店舗くらい出せるようになりました。」

患者さんに楽しいひと時を届けたい。ひとりの熱い思いから始まったこの企画も沢山の人を巻き込み、今では箱根病院を象徴するイベントになっています。

患者さんやそのご家族だけでなく、一般の方でも参加出来ますので、お気軽にお越しください。

The Scene
N°04
箱根病院、花火大会

演奏とともに、夜空に咲く花を楽しむ
 夏の夜空を彩る美しい花火。日本人はひとときの余韻とともに一瞬にして消え去る夜空の花を見ながら、日本の夏を感じます。箱根病院では毎年8月に、花火大会が行われ、沢山の人が打ち上がる花火を楽しみます。この花火大会は箱根病院の歴史となるイベントのひとつです。

箱根病院の花火大会は患者さんだけでなく、職員もとても楽しみにしているイベントです。一般の方にも公開され、毎年、たくさんの方が訪れます。

そして夜の帳が下りる頃、花火が打ち上がり、歓声とともに夜空を彩ります。打ち上がるひとつひとつを噛み締めながら、音と光の芸術を楽しみます。

その歴史は長く20年以上も続いています。長期的に療養される箱根病院の患者さんに、少しでも日本の夏・楽しいひと時をお届けしたい、患者さんをおもひはいつも昔も変わりません。

花火大会のクライマックスは迫力満点のナイアガラの滝。

箱根病院の旧本部棟の赤い屋根とナイアガラの滝がとても美しく、感動的です。

そんな箱根病院の花火大会、一般の方も参加できますので、ぜひお気軽にお越しください。

縁日を楽しんだ後、いよいよ箱根病院恒例イベント、花火大会が始まります。そのスタートを切るのはボランティアの方の演奏。力強く美しい音色が夕空に響き渡り、みんなが音楽に酔いしれます。

【Information】

開催日：2016年8月17日

場所：国立行政法人箱根病院 駐車場

箱根病院を支えるスタッフたち。
どんなことを考え、どんな未来を見据えて仕事に
取り組んでいるのか、その想いを伺いました。

PEOPLE

～ 箱根病院を支える人々～



PEOPLE-003

みよ あかね
看護師 御代 あかね

PROFILE

パソコンのインストラクター、派遣会社のコーディネーターを経て、2014年から現職。箱根病院を愛し、仲間や患者さんを受容する彼女の周りにはいつでも笑顔が溢れています。趣味は苔を見ること。美しい苔を探しに登山に行くことも。ひとこと...一緒にいい苔を探しに行きましょう！

箱根病院はもう一つの 箱 家族のような場所

看護師として4年目をむかえた御代さん。箱根病院が大好きだと話す彼女にとって、箱根病院はどんな場所なのか？一緒に働く仲間、患者さんはどんな存在なのか？彼女の仕事ぶりの裏にある想いに迫ります。

御代さんの仕事について教えてください。

「箱根病院は神経難病を専門とした病院です。長期的に療養されている患者さんの日常生活の援助から処置・ケアにいたるまで24時間対応で行っています。箱根病院の看護はコミュニケーションがとても大切。患者さんの状態によって、コミュニケーションの仕方が全く異なるので、患者さんの意図を汲み取れるように出来る限り丁寧にやっています。とはいってもまだまだ完璧とはいきませんけどね(笑)」

看護師を志したきっかけは？

「結婚して子供がいるのですが、実は子供が1歳半の時に旦那をなくしているんです。そこから私の人生は大きく変わりました。ひとり親で子どもを育てる大変さや、この状況で娘を幸せにしてやれるのだろうか、日々不安ばかりでした。でもそんなこと言っていたら子供を育てていけない。私のような経験をしている人は少ない、こういう経験をしているからこそ、私にしかできないことがあるのではないか、そう考えた先に、人の心に寄り添える看護師という職業を選びました。」

箱根病院で働き始めて感じたことは？

「箱根病院は、本当に暖かくて、私のもう一つの家族みたいな存在です。スタッフも、患者さんもそのご家族からも良くしていただいています。みなさん私の状況をわかっている、いつも声をかけてくれたり、手を差し伸べてくれるんです。いろんな事がありますが、箱根病院が大好きだから、いままで続けられているのだと思います。」

御代さんの今後の展望について教えてください。

「しっかり箱根病院でステップアップをしていきたいと思っています。自分の知識も増やして定着させていきたい。これまで3年間やってきた土台をより強固にしていきながら、ゆくゆくは認定看護師を目指して、幅広く色々な方々と連携しながらよりよりサービス・箱根病院にしていきたいと考えています。」



PEOPLE-004

やまなか さき
児童相談員 山中 沙希

PROFILE

新卒から箱根病院で働き始め、現在3年目。今では、入院患者さんの生活・福祉に関する相談援助業務や、毎月のコンサート・季節の行事(花火大会やクリスマスケーキ会食)・カラオケ活動等、箱根病院の様々なイベントを手掛けている。プライベートではライブに行くことが好きで、ロックフェスにもよく行くそうだ。ひとこと...指導室に遊びに来てください！

沢山の患者さんと一緒に 過ごす時間が楽しい

山中さんの仕事について教えてください。

「仕事内容は、患者さんから寄せられる相談の内容によって、様々です。趣味活動の支援・外出時の調整・福祉制度の説明や手続きの代行・関係機関との連絡調整などを行います。また、長期療養の方々にとって、箱根病院は生活の場です。日々の生活を楽しくして頂けるように、歌や楽器演奏のコンサート、カラオケなどのイベントを企画しています。イベントは患者さんが中心となって楽しんで頂くもので、患者さんの意見を取り入れながら企画を行っています。」

これまで沢山の企画をやったと思いますが、苦労したことは？

「沢山の企画に関わるイベントはとても大変ですね。例えば花火大会は箱根病院の各部署だけでなく、花火師さんやボランティアの方々、演奏をされる方々など多くの人の調整が必要になります。色々準備していても、当日にならないとどうなるかわからないこともありますし、当日は対応に追われますね。ただそれでも患者さんが喜んでいるのを見ると、それまでの苦労なんて忘れてしまいます(笑)。」

イベントを企画・進行する際に気をつけていることはありますか？

「はい。私は沢山の患者さんに楽しんでいただきたいと思っています。でもどうしてもベッドで寝たきりの患者さんの参

加率は高くありません。なるべく多くの患者さんが楽しめるように、バイオリンやオカリナなど場所を選ばないようなものは、患者さんの部屋をまわってもらって、普段参加できない人も参加して頂けるように、出来る範囲の中でプログラムを工夫しています。」

山中さんの今後の展望について教えてください。

「もっと沢山の患者さんと関わっていきたいです。今は、自分自身の知識や経験不足から、行政手続きや書類作成等のデスクワークに時間がかかってしまうことも多いです。病院関係者や行政機関の方々や連携をしていくためには、やっぱりある程度の知識が必要ですし、沢山の知識を身につけて、仕事をスムーズに進められるようになって、患者さんの時間をもっとつくれたらなって思っています。そして、目標とする先輩職員の方々から多くのことを学びながら、成長していきたいです。」

HAKONE HOSPITAL News

- 箱根病院ニュース -

患者さんによるアート展「風祭展」開催

「風祭展」は箱根病院に入院している患者さんによる絵画や・絵手紙・パソコン画等の作品を発表する展示会です。作品の多くは、神経難病である筋ジストロフィーで、日常生活や社会生活に大きな制限のある患者さんによるものです。患者さんが自分の持てる力を発揮し、取り組んだアート作品。ぜひ、皆様足を運んでみてください。



日程:2016年6月9日(木)~6月13日(月)
開催場所:飛鳥画廊
住所:神奈川県小田原市栄町2-13-12
お問合せ:0465-24-2411

& Hospitality

&ホスピタリティ

箱根病院の働き方の理想、それは相手のことを思いやる優しさに満ちた働き方です。職員同士の心温かいコミュニケーションがあるからこそ、患者さんへ心温かいサービスを提供することができます。いつもの仕事に次の人への思いやり添える「& Hospitality」をテーマに箱根病院の働き方を紹介します。

No.01



患者さんの施術をする際、例えばその患者さんが次に食事をするという場合に、看護師さんがその仕事に移りやすいように、患者さんの体位などを調整した上で仕事を終わるようにしています。

理学療法士
加藤さん



各勤務帯で看護師は呼吸器のチェックをします。夜勤の場合、病室内は真っ暗なので、患者さんに装着しているベッドサイドモニターを探すことになってしまいます。そのため、私は夜勤の看護師が探さなくてもいいように常にわかりやすい位置に置くようにしています。

No.02



看護師
御代さん



No.03



看護師
治田さん

患者さんの一日がどうしたらよりよくなるのか、患者さんの1日の流れを考え、次の人にどうバトンタッチすればいいのかを考えるようにしています。例えば患者さんがご飯を終えてしばらくゆっくりしたい、そんな時に患者さんの意向を次のスタッフの人にきちんと伝えた上で仕事を終わらせるように心がけています。



ワンちゃんによる癒しのプロジェクト

動物とのふれあいでほんとに癒されますよね。実は一か月に一回くらい箱根病院に「介助犬」と書かれた胴着をつけたワンちゃん(クロエ)が来ています。介助犬とは体の不自由な人をお世話するワンちゃん、盲導犬、聴導犬とともに身体障害者補助犬として法律で認められている犬です。クロエは来るたびに何人かの患者さんと会ってくれるのですがその時の患者さんの嬉しそうな様子(涙がでてしまう方もいます)をみていてこの癒しをもっとたくさんの患者さんにもっと身近に届けたいと思いました。現在日本介助犬協会と一緒に箱根病院でのワンちゃんによる癒しのプロジェクトを準備しています。皆さん楽しみにしていてくださいね!



ワゴンサービスを実施

病棟の食堂にてワゴンサービスを実施しました。長期療養の患者さんにとって食事は何よりも楽しい日常のイベントですが、飽きのこない工夫がより必要です。そこで昨年から新しい取り組みとして、毎月、季節感のあるスイーツを、患者さんのご要望にお応えしながら目の前で盛り付けする箱根病院のワゴンサービスを実施することとしました。患者さんだけではなく職員の方にも好評です。今回ご用意した「あんみつ」には、寒天、黄桃、いちご、抹茶ムース、こしあん、黒みつのトッピングをご用意しました。今後も人気の高いスイーツを取り入れ、パフォーマンスを盛んに患者さんがより楽しんでいただけるワゴンサービスを実施していきたいと思っています。



春の風、新しい力

新たな年度を迎えました。

それに先立ち、これまで病院を支え発展に力を尽くしてくれた仲間が新しい職場・環境・人生へと羽ばたきました。昨年度は、院内におけるそれぞれの病棟の役割を明確化させ、働きやすい病棟を目指して他部門からの協力をわかりやすく進展させるなど、箱根病院の進化と将来像が見えた年度でした。

そして、春の柔らかな風が病院に吹き込んできました。ようこそ、箱根病院へ。昨年引き続き、多くの新社会人がフレッシュな風を吹かせてくれます。他の機構病院で豊かな経験を持つ人々は、病院に知恵をもたらしてくれるでしょう。あわてなくとも確実に病院に溶け込み、病院のコンセプトである「命輝く、癒しの病院」をともに作る仲間になって欲しいと願っています。

箱根病院では、準備を重ねた訪問診療を4月に開始しています。地域における在宅療養を含めた難病医療への貢献に一層邁進する決意の現れです。また、先進的な3T-MRIの地域での利用促進も進めています。神奈川県西部を中心としながらも神奈川県全域、東京、静岡、山梨など広い地域の神経難病患者・家族の皆様へ寄り添う病院を目指して、職員みんなで力を合わせる今年の春です。

箱根病院 神経筋・難病医療センター 院長

小森 哲夫



【行事】

6月9日(木)～6月13日(月) 箱根病院風祭展開催

箱根病院の患者さんの作品展を開催します。

開催場所: 飛鳥画廊 住所: 神奈川県小田原市栄町2-13-12 電話番号: 0465-24-2411

6月17日(金) ケアラーズカフェ第3回

第3回「患者・ケアラー会 箱根茶屋～明日のために今日は一息～」を6月に開催します。介護されている方々(ケアラー)の息抜き・交流の場としてプログラムをご用意しております。お気軽にご参加ください。

※日程が変更する場合がございますので、詳しくは箱根病院までお問合せください。



【交通案内】

自動車利用の場合

1. 小田原厚木道路、または西湘バイパス等を利用の場合
箱根口インターチェンジで降りて最初の信号「風祭」を右折し、次の信号「風祭駅入り口」を左折
2. 国道1号線を利用の場合
「風祭駅入り口」の信号を、小田原方面からは右折、箱根湯本方面からは左折

鉄道利用の場合

JR東海道線、東海道新幹線または小田急線小田原駅乗り換え、箱根登山線風祭駅下車、徒歩2分。(駅より病院正門まで約40m)

【外来診療】

外来診療受付時間: 平日8:30～11:30

※外来診療は原則として予約制です。

予約受付電話番号: 0465-22-8731

予約受付時間: 平日14:00～17:00

【採用情報】 <http://hakonehosp.com/>

私たちは共に「いのち輝く、癒やしの病院」づくりを行っていく仲間を求めています。採用に関する詳しい情報はホームページの職員募集を御覧ください。

編集後記

「QUARTERLY MAGAZINE HAKONE HOSPITAL 夏号」を発刊しました。今回の表紙は箱根病院の一大イベント花火大会&緑日の準備シーンを切り取った一コマ。箱根病院のスタッフが思いを込めてつくり上げるひとつひとつが、箱根病院の未来につながります。「いのち輝く、癒やしの病院」理想の病院に向けてスタッフ一丸となってしっかりと積み上げていきたいと思っております。